

- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

宝島に住む。

岳南中学校 第一学年 小笹花生

屋久島と言えば一番に思い浮かぶのは屋久杉や縄文杉といった樹や森に関する物だろう。少なくとも私はそうだった。

私は、縄文留学で屋久島に二年目の滞在をしている。留学を決意した際、初めに考えたことは「ジブリでお馴染みのもののけ姫」だった。この作品は、宮崎駿本人がわおわお訪れて、森のシーン等を描いたらしい。それ

中学校

ほどの魅力がある島に一時的にでも住めるということを嬉しく感じた。いざ来てみるも、その通りだった。見渡す限り自然に囲まれた島だった。都会のようにマンツヨニや電線が隠れてしまった景色が、この地では日常生活で見ることが出来る。例えば、外を散歩しているとして、上を見上げると大量の電線ではなく時には真っ青な青空を見る事が出来る。だからだろうか？毎年、指を折ってでは数えきれないほどの観光客が訪れている。私が留

No. /

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」をしつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおきない、むだなことばをけずりましょう。



1. 題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
2. 学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
3. 文章は三行めから一字きけて書きはじめましょう。
4. 文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字きけて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

学する前、面接を受けるとのために屋久島に訪れた際、屋久島に移住した友人が色々な人気スポットへ連れて行ってくれた。中でも、山や浜辺が多かった。だが私はそれらの中でもずば抜けて魅力を感じた場所があった。本作文ではそれについて書かせていた。ただこうと思う。車窓から眺める景色は、今にも零れ落ちてしまおうのではないかと思うくらいに全てが緑で満ち溢れていた。小さな飛行場から車で一時間半以上も掛かる場所にある友人の家に行

中学校

くまでの暇潰しにしてはとも豪華だった。景色を眺めていると分かることだが、時間が経つにつれて家や店が減っていった。これはつきりと分かった。最後のスーパーらしいスーパーを通り過ぎてから、友人の家は二十分以上も離れていた。途中に無人市や商店ならあったが、友人の家の近くにはスーパーは見当たらなかった。私の元々住んでいた兵庫県の家は、徒歩一分の距離でスーパーがあった。ので、驚いた。友人が連れて行ってくれた所

No. 2

5. 読みやすいように、と。とをしっかりとつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
6. 人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
7. 漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」を、しっかりと使いわけましょう。
8. 書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおきない、むだなことばをけずりましょう。

(不許複製)



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字きけて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字きけて書きはじめ、一つの段落がおわったら行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

は、大川の滝という所だった。その場所は、少し歩くと海が広がっていて、その海が見えるまでには川が流れている。まずここで一つ疑問に思ったことがあった。大川の滝は、川という漢字を「かわ」では無く「こ」と読むことだ。方言なのか、それとも元々の読み方に漢字を無理矢理当てたのか。それは、興味があれば自分で調べてほしい。

屋久島は、一か月に三十五日雨が降ると呼ばれているほど、雨が降り島だ。おかげで農

中学校

作物も豊かで、海や森も澄んでいるのだろう。だが島民目線で見ると、とても厄介な島でもあるらしい。洗濯物は干せないわ、停電するわでイメリツトが多発しているらしい。でも島民の方々が屋久島に住み続けているのは、屋久島が好きという証拠なのだろう。

偶然運が良かったのか、その日観光しに行

った日は快晴の青空だった。昨日の雨が嘘の様で昨日の雨のせいかわの氷の量も多く、絶好のフニデイショニで大川の滝を拝むことが

No. 3

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」とを、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおきない、むだなことをけずりましょう。

(不許複製)



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字空けて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字空けて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

できた。大川の滝にギリギリまで近づこうと  
 岩に上った。滝の水しぶきがミストとなって  
 私達に降り注いだ。角度を変えると虹が架か  
 っっているようにも見えた。ルナハートルも  
 の選か彼方から流れ落ちる大川の滝の滝壺は  
 濃い、深い緑色をしていた。海へ続く川の水  
 は、もはや自然の作り出したジュースだ。た  
 いや、もしかするとそこのジュースよりも  
 美味しいかもしれない。もしも大川の滝へ行  
 くとすれば、割れないスープやお茶碗を持参

中学校

するとも良いかもしれない。手ですくって飲む  
 のも良いかもしれないが、スープの方がジュ  
 ースと屋久島の天然の水を比べ易いと思う。  
 屋久島は、大自然に囲まれた宝石箱だ。こ  
 れは断言できる。島民の方々の交流関係や、  
 ウミガメなどの産卵の様子、観光スポット巡  
 り。どれも渡れた心に思い切り沁みることだ  
 ろう。いや、それ以上に人生の宝物になる。  
 これも断言できる。なぜなら本作文では私の  
 体験したことを書かせてもらっているからだ。

No. 4

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」、しつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおき直し、むだなことばをけずりましょう。

